

グリーン経営取得で燃費への意識変わる

認証取得で燃費改善にも成功

【大阪】「環境問題に注目が集まる時代に形の残る取り組みを、と思い取得した」と話すのは、関西配

送（大阪市淀川区）の林繁雄社長。

同社は、昨年8月にグリーン経営を取得。林社長は「地場輸送が中心だったことから、燃費に対する意識が低かった」と、取得前を振り返り、「取得によつ

て再認識させられた。従業員にはいい意識改革になつた」と話す。

取得前と比較する

と平均で3～5%の燃費改善に成功して

いる同社の取り組みは、燃費の良さにこだわり車両を入れ替え、毎月のミーティングではエコ運転で燃費がどれだけ伸びたかをデータ化して

が意識するようになり、いい刺激になっている」と語る。また、ドライバーの品

質アップとエコ運転によ

り、安全の向上にもつながる。「車両も年々良くなっているので、あとほどライバーの努力で燃費も差

が意識するようになつて、いい刺激になっている」と語る。また、ドライバーの品質アップとエコ運転による影響

現在は長距離配送もしているので燃費向上が経営に影響する」と話す。

同社は、大型車2台、4トン車3台を増車しており、「次の営業展開を考え社員一丸となって仕事に取り組んでいく」と話す。（中村優希）

